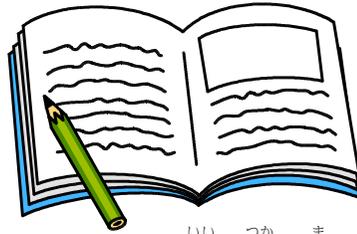


あむーる

島根県立松江北高等学校
第3学年 八幡英語通信
2016年7月7日発行
第12号

No.12

先輩は語る <12>



意志あるところに道はある

大阪大学外国語学部外国語学科タイ語専攻 飯塚真耶

北高生の皆さん、こんにちは。今回、「進路だより」を書かせていただくことになり光栄に思います。三年間の高校生活と一年間の浪人生活を振り返りながら、少しだけお話させていただきたいと思います。私がなぜ現役で失敗し、今年の受験で合格したのか。一言で答えれば、「絶対にこの大学でないとダメなんだ」という強い意志があったかなかったかということです。現役時代、志望校は明確だったものの心の中では失敗した場合の逃げ道を作っていました。ここがダメなら次はここかなあ…というように。私はマーク模試が苦手な方だったので、マーク点が出る度に、心の中で志望校が揺れ動くことも多々ありました。意志がそれほど強くなかったからです。しかし、何の根拠もないのに強い意志など持つことはできません。自分にある程度の自信を持つことが必要です。現役時代の私は自分に自信がありませんでした。それでは、どうすれば自信が持てるのか。それはやはり勉強しかありません。ここで私は、たくさん勉強なさいと言っているわけではありません。皆さんには、自分が納得できる勉強法を確立してもらいたいです。

ここで私が実践した勉強法を少しだけ紹介したいと思います。理系科目については、アドバイスできるほどではありませんので省略させていただきます。

★**国語**…現代文は、ただひたすら授業を聞きました。現代文は家に帰って自分で問題を解いて採点することは難しいので、授業のなかで必死に問題文と向き合い、考えるようにしていました。古文はまずは古文単語と古典文法をしっかりと暗記することです。そして時間に余裕があれば、国語便覧に目を通すといいです。古文に描かれる当時の状況が理解しやすくなります。漢文は、漢文必携の例文を暗記しました。

★**英語**…英語は急に成績がのびる教科ではないので、毎日コツコツと勉強することが大切です。私の場合、ポケットサイズのノートを用意して知らない単語があれば書きこむようにしていました。授業で用いるテキストはもちろん、模試、時には他の教室の板書として残っていた英単語も書き込みました。英単語は多いほど有利なので、貪欲に吸収していくのが得策です。

★**日本史**…個人的には、明治時代以降が大変でした。ここは、内閣の順番を暗記し、事件も内閣で整理していくと意外に楽になります。

★**世界史**…常に「なぜ」と問いかけていました。そうすれば疑問に思った地域とは別の地域についても同時に深く学ぶことができました。国同士のヨコのつながりが分かるようになると、急に世界史は楽しくなります。

自分が納得できる勉強法がしっかりとしていることが自信につながり、それが強い意志を持つことにつながります。しかし、受験は決して楽なものではありません。時には、自分の勉強法に不安を感じ自信を失ってしまうこともあるかもしれません。そんな時には一人で解決しようとせず、まわりの人に相談してください。一緒に受験に向かっている仲間でもいいでしょう。私の場合は先生に相談させてもらうことが多かったです。先生もお忙しいにも関わらず、早朝から相談に乗ってくださったり、下校時間が過ぎたあとまでお話をしてくださったこともありました。お話をした後は、なぜだか毎回自信が溢れ自分の意志を再確認することができました。よく“**受験は団体戦である**”と言われますが、私はそうは思いません。むしろ“**完全な個人戦**”であると思います。結局、受験で戦うのは自分自身です。自分がやらなければ前に進みません。しかし、先生、家族、仲間とたくさん話すことは受験という個人戦を勝ち抜くための大きな力を与えてくれたように思います。だからこそ、最後まで自信を失うことなく強い意志を持ち続けることができました。

受験生の皆さん、意志あるところに必ず道はあります。浪人生活を通して、私が心から実感したことです。最後まで強い意志を持ち続け、自らが本当に望む道に向かって進んでいってください。微力ながら応援しています。

最後にこの場をお借りして、いつも熱心に指導して下さり相談となると温かく迎え入れてくださった先生方、どんな時も味方でいてくれた家族、共に切磋琢磨できた仲間、すべての人に心から感謝しています。本当にありがとうございました。(下線は八幡)



🏠 飯塚さんはESS部に所属していた英語好きの生徒でした。僕が退職した時には、大阪からきれいな花束をプレゼントしてくれました。上の写真は大学からタイに留学が決まったと八幡の自宅に報告に来てくれた時のものです。今はチェンマイ大学で留学生活の最後を送っています。帰ってきたときの土産話が楽しみです。松江駅で数年ぶりに偶然会った北高卒業生がタイへ派遣されるというので、飯塚さんに紹介したところ、フェイスブックや現地で仲良く交流をしていたようです。人の巡り合いというのは不思議なものです。大切にしておかないといけません。